

# 2023 年度第1回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日 時： 2023 年 7 月 16 日（日）10：00～16：00（受付 9：30～）

会 場： 京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺南町 134）/ZOOM

## ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。2023 年度第 1 回の全国研修会を京都リサーチパークで開催いたします。今回も引き続き、オンライン参加とオンライン参加のハイブリッドで開催させていただきます。

全体会では、当学会の編集委員長でもある河合俊雄先生にご登壇頂きます。河合先生は今年の 3 月で京都大学を退職された後、一般社団法人京都こころ研究所を設立され、個人のこころとコミュニティの関係などについて実践を踏まえた研究を続けておられます。

3 月に出版された『夢とこころの古層』（創元社）では、夢が私たちの現実に直接的なリアリティをもつとき、私たちのこころに何が起きているのかということについて思索を重ねておられます。これはイメージを扱う臨床をなさっている方たちにとっての必読本と言ってもいいでしょう。

今回の全体会では、「イメージにおけるメタファー性と直接性・身体性」という演題で、夢や箱庭へのアプローチについて詳しくお話いただけることと思います。

後半の分科会では、6 つの分科会を設けております。事例を募集している分科会もございますので、どうぞ奮ってご応募下さい。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2023 年 5 月 吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 岩宮恵子

## <開催要領>

### 1. 定 員：150 名（オンラインの上限定員）

会場に来場いただく「オンライン」参加と、ZOOM を使用して視聴していただく「オンライン」参加の選択可能な混合開催となります。

**参加資格**：心理臨床の事例に関して守秘義務を負うる、以下の条件のいずれかを満たす方とします。

- ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
- ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
- ③臨床心理学およびその関連領域で心理臨床の実践的な仕事に従事されている方
- ④心理臨床を専攻する大学院生

### 2. 参加費：学会員：4,000 円 非会員：7,000 円 大学院生（非会員）：5,000 円

### 3. 研修ポイント：全体会、分科会の両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第 2 条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、受講者には 2 ポイント、分科会での事例発表者には 4 ポイントが付与されます。

#### 4. 研修内容：

##### (1) 全体会：10：00～12：00

テーマ：『イメージにおけるメタファー性と直接性・身体性』

講師：河合俊雄氏（京都こころ研究所）

心理療法では、イメージを象徴やメタファーとして受けとめるのが基本である。たとえクライアントが前日の体験そのままの夢を見たとか、知っている風景を箱庭に作ったと言っても、現実との違いに象徴的な意味を見出すのが大切である。しかし身体疾患や死に面するなどの極限的な状況になると、夢や箱庭が現実や身体、さらには治療関係に直接的な影響を及ぼすことがあり、これはわれわれのこころの古層に存在する傾向だと考えられる。イメージにおけるメタファー性と直接性の心理療法についての意味を考えたい。（参考：河合俊雄『夢とこころの古層』創元社）

##### (2) 分科会：13：00～16：00

以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

**事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示希望者は、「6. 参加・発表申込について」をご参照の上、お申し込みください。**

#### ● 第1分科会 河合俊雄（京都こころ研究所）

『夢や箱庭へのアプローチ：メタファー性と直接性』

全体会での講演を踏まえて、実際の事例からイメージにおけるメタファー性と直接性、特に箱庭の場合は身体性を検討したい。心理療法におけるイメージは文字どおりにとらずに、メタファーとして受け止めるのが基本である。しかし特に身体疾患に関してや危機的状況においては、イメージが直接に現実や身体に直接に関係したりする。実際の事例におけるそのような両面について検討したい。

**<事例募集>**

#### ● 第2分科会 北口雄一（北口分析プラクシス）

『勝つ、負けるが、男性に何を及ぼすか』

サッカーにしても野球にしても、たとえば世界を相手にした戦いに多くの人の気持ちが動かされるが、それはその人にとって余りに自明のことかもしれない、そのイメージが自らの存在に、何故その感情を生み出すかが意識されることは、どれくらいあるだろうか。多くの思春期の子どもたちが、戦いが主題となっているアニメやゲームに熱中するが、そのイメージが、何故その子たちをそれほど動かすのか。今回の分科会では、勝つことがいかに存在に影響を及ぼすか、負けず嫌いということ、などに目を向けながら、自信のなさ、不登校、引きこもりなどの、主に男に生じやすい心理学的な問題をテーマとしたい。臨床心理士には女性が多いのは事実で、男性クライアントの理解に困ることもあると想像し、それに寄与できることも目指したい。

#### ● 第3分科会 高石恭子（甲南大学）

『原点に還って風景構成法を味わい、事例の中で読み解く』

2022年8月、わが国を代表する臨床家の一人、中井久夫氏が逝去されました。氏の功績は深く多岐にわたりますが、その中でも、表現技法の一つである風景構成法を創案されたことは、様々な心理臨床現場に今も貴重な遺産として受け継がれています。この機会に、風景構成法の導入によって支えられた事例、転機を迎えた事例などを通して、創案された原点に還って、この技法の意味や意義についてみなさんと考え、作品を味わい、読み解くことを試みてみたいと思います。1枚だけでも、連続して描かれたシリーズでも構いません。教育、医療、司法等の領域も限定しません。風景構成法が導入された事例を複数、参加者の中から募集しますので、ぜひ申し出てください。

**<事例募集>**

#### ● 第4分科会 田中康裕（京都大学大学院教育学研究科）

『箱庭療法におけるイメージと身体』

箱庭に表現されるイメージは、夢や描画のそれと比較した時、より具体性をもっている。そこに砂があり、砂箱があり、アイテムがあり、それを自らの手で作り上げてゆくからだ。その意味で、箱庭療法には、「表現」と「作業」、双方のプロセスが同時的に働いており、それは身体の次元と深く関わっていると言えるだろう。この分科会では、京都橘大学心理臨床センターの長野真奈先生にご発表いただく青年期女子の事例を通して、そのような箱庭療法におけるイメージと身体について考えてみたい。

（事例提供者：長野真奈氏）

● 第5分科会 前川美行（東洋英和女学院大学）

『子どもを亡くす体験がもたらすもの』

親にとって子どもを亡くすことは言葉に尽くせぬ苦しみである。

事故や病気、自死、さらには、生まれる前に亡くなってしまうこともある。中でも生殖補助医療の普及は、子どもを持つ可能性を広げるとともに新たな苦しみを生み出してもいると言える。そのような苦しみへの心理療法は、深く傷を受けたところとの対話である。そこで、本分科会では、お子さんを亡くされた事例の報告から、夢やイメージに注目して、「身体」や「いのち」、そして「子ども」のイメージについて検討し、深めてみたい。

（事例提供者：新村麻里奈氏）

● 第6分科会 松下姫歌（京都大学大学院教育学研究科）

『「攻撃的」に見えるイメージの理解とアプローチ』

現代社会において「攻撃性」は古くて新しいテーマである。心理臨床においては、どの時代においても、クライアントの言動や表現に、攻撃的なイメージや非社会的に見えるイメージが見られることは多いが、近年はそれらの抱えにくさや触れ難さが訴えられる場合が少なくない。犯罪や事件・事故等につながることへのおそれが生じたり、同じことを繰り返して出口が見えないように感じられ、アプローチに戸惑う場合もあるだろう。今回は、このような、「攻撃的」に見えるイメージの理解とアプローチについて考えたい。

事例を募集します。「攻撃性」は広く捉えて頂いて結構です。さまざまな形の「攻撃性」がありうると思いますし、どのような事例にもそれは見られうるものではないかとも思いますので、それぞれの切り口で取り上げて頂ければと思います。

<事例募集>

## 5. 参加・発表申し込みについて

### WEBによる参加・事例発表申込方法

#### 【参加申込】

当会ホームページ（<http://www.sandplay.jp/training.html>）および右記 QR コードの申込フォームよりお申し込み下さい。申し込みが完了しましたら、自動返信メールが送信されます（※パソコン、スマートフォン対応）。24時間以内に自動返信メールが届かない場合は、日本箱庭療法学会全国研修会事務局（[training\\_jast@sandplay.jp](mailto:training_jast@sandplay.jp)）までお問い合わせ下さい。



#### 【秘密保持に関する誓約書の提出について】

参加者の皆様に事例発表内容に関して「秘密保持に関する誓約書」の提出をお願いしております。誓約書をご提出いただけない場合は、大会・研修会への参加をお断りすることになります。また、誓約内容に違反された場合、大会参加資格の停止、研修会参加資格の停止等の措置をとらせていただきますので、あらかじめご了承ください。

参加申込完了後に誓約書提出用フォームへの入力画面に移動しますので、内容をご確認いただき、必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、右記の「QRコード」の入力フォームにご記入いただきご提出ください。



#### 【事例発表申込】

上記の申込フォームよりお申し込みいただけます。事例発表を「希望する」にチェックし、申込フォーム上にある<事例概要記入シート>にご記入の上、別途メール添付で日本箱庭療法学会全国研修会事務局（[training\\_jast@sandplay.jp](mailto:training_jast@sandplay.jp)）までお送りください。事例発表申込締切後、発表の可否について事務局よりご連絡いたします。

※事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。

※<事例概要記入シート>は、当会ホームページからもダウンロードしていただけます。

※ **事例発表申込締切：2023年6月14日（水）【必着】**

※ **参加申込締切：2023年7月3日（月）【必着】**

- ・お申し込みは原則として先着順です。
- ・分科会コースの通知はおこなわず、お申し込みの分科会で受け付けいたします。
- ・定員となった分科会より締め切らせていただきます。希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

## 6. 参加費振込みについて

- ・自動返信メールを受領後に、以下の口座へ参加費をお振込みください。

### <郵便局・ゆうちょ銀行から振り込まれる場合>

振込先： 00900-8-233788  
 加入者名： 一般社団法人日本箱庭療法学会  
 研修委員会

### <他金融機関から振り込まれる場合>

銀行名： ゆうちょ銀行  
 店番： 099  
 預金種目： 当座  
 店名： ○九九店（ぜろきゅうきゅう店）  
 口座番号： 0233788

- ・お振込の際に、自動返信メール内に記載されている【受付番号】をお名前の前に必ずご記入のうえ、お手続きください。（例：8528 ハコワタロウ）
- ・振替用紙を使用される場合、通信欄には「2023年度第1回全国研修会参加費」、自動返信メール内に記載されている【受付番号】とお名前をご記入ください。（例：8528 ハコワタロウ）
- ・納入された参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。

※ 参加費振込締切：2023年7月5日（水）

## 7. 参加証について

オンラインで参加された方には、当日受付にて参加証をお渡しいたします。参加証が研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

オンラインで参加された方には、終了後に参加ログにて出席確認を行い、参加が認められた方にのみ送付いたします。送付までにお時間を頂戴いたしますので、ご了承ください。なお、終了後1ヵ月を過ぎても届いていない場合は、training\_jast@sandplay.jp までお問い合わせください。

## 8. 会場案内

京都駅より JR 嵯峨野線（山陰線）1 駅  
 丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分  
 ※その他のアクセスについては、  
 京都リサーチパークホームページを  
 ご参照ください。

(<https://www.krp.co.jp/access/>)

## 9. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会  
 全国研修会事務局

E-mail : training\_jast@sandplay.jp

